

令和 7 年排球部練習初めと O B 会新年会

いつの頃からか、排球部の新年正月の練習初めは、1 月 3 日 9 : 0 0 – と決まっております。現役からすれば、昼過ぎ前 O B 戦を行い、その後（時には O B と共に昼食を取り）、喜多院のだるま市で、ベンチに置く「必勝だるま」を購入するという流れでありました。一方、O B からすると、O B 戦終了から、夕方に開催される O B 新年会までの時間が空いてしまい、特に O B 戦に参加した若い世代が O B 新年会にあまり参加しないという現状がありました。

昨年の夏に開催された O B 総会で、排球部 O B 会の位置付けを「現役排球部員への支援と O B の交流の場であること」を再確認いたしましたので、今年から、1 月 3 日行われている現役との O B 戦を午後開催に変更し、終了後、速やかに O B 会の新年会を開催することいたしました。

O B 戦の参加者は 12 名で、実際に O B 戦に参加したものは少数でしたが、往年のプレーとはほど遠いものの、ケガをせずに終了したことは、コートの外から見ていた者としては、まずはほっとした次第です。

新年会の方は、現在、指導いただいている近藤 勉先生、斉藤峰希先生、そして、かつてご指導いただいた池ノ谷伸也先生（S55.4-H2.3）のご列席の下、26 名の O B が集まり、昔話に花を咲かせておりました。また、古い世代では考えられないくらいの現役部員が多い現状、あるいは、狭山市や入間市には中学男子バレーボール部がなくとか、現在の川高排球部の 1 年生にはバレーボール経験者が一人もいない等、今の川高排球部のおかれた状況も教えていただきました。

排球部としては、昭和 51 年の春高バレー、国体出場を頂点として、最後の関東大会出場は昭和 54 年、最後の県ベスト 4 は平成 12 年と、長い間、思うような成績は納めることは出来ておりません。しかし、現在現役部員は多く、活動が継続さえしていれば、いつかは川高排球部の復活を目にすることが出来るのではないかと我々 O B は夢見ております。

川高ファイト！！

排球部 O B 会長 中野文夫（高 39 回）

（文責 大谷晃司 高 35 回）

